

企画展

未来につなぐ日本画展

出品作家(受賞年順)

松伯美術館 公募展優秀賞 受賞作家の 現在

松伯美術館は
日本画の未来を
託す画家たちを
応援しています

- | | |
|-------|-------|
| 古田年寿 | 奥村絵美 |
| 和田ひとえ | 前田恭子 |
| 難波洋子 | 藤城正晴 |
| 守家美保子 | 池田真理子 |
| 関友道 | 城野奈英子 |
| 岩崎早苗 | 立木美江 |
| 平井理佐子 | 小林悟 |
| 細見朋子 | 伊藤なおみ |
| 青木秀明 | 島本純江 |
| 小山美和子 | 松原亜実 |
| 那須ちひろ | 森下麻子 |
| 長谷川雅也 | 内海福溥 |
| 丸山勉 | 井上貴絵 |

2023年

2.11(土・祝) - 3.12(日)

【休館日】月曜日

【開館時間】10時～17時(入館は16時まで)

【入館料】大人410円

学生(高校生・大学生を含む)無料

※高校生・大学生の方は学生証をご提示ください。

【主催】公益財団法人松伯美術館

【協賛】一般財団法人京都花鳥館

【後援】読売新聞社

松伯美術館
SHOUHAKU ART MUSEUM

〒631-0004 奈良市登美ヶ丘2丁目1番4号 Tel.0742-41-6666



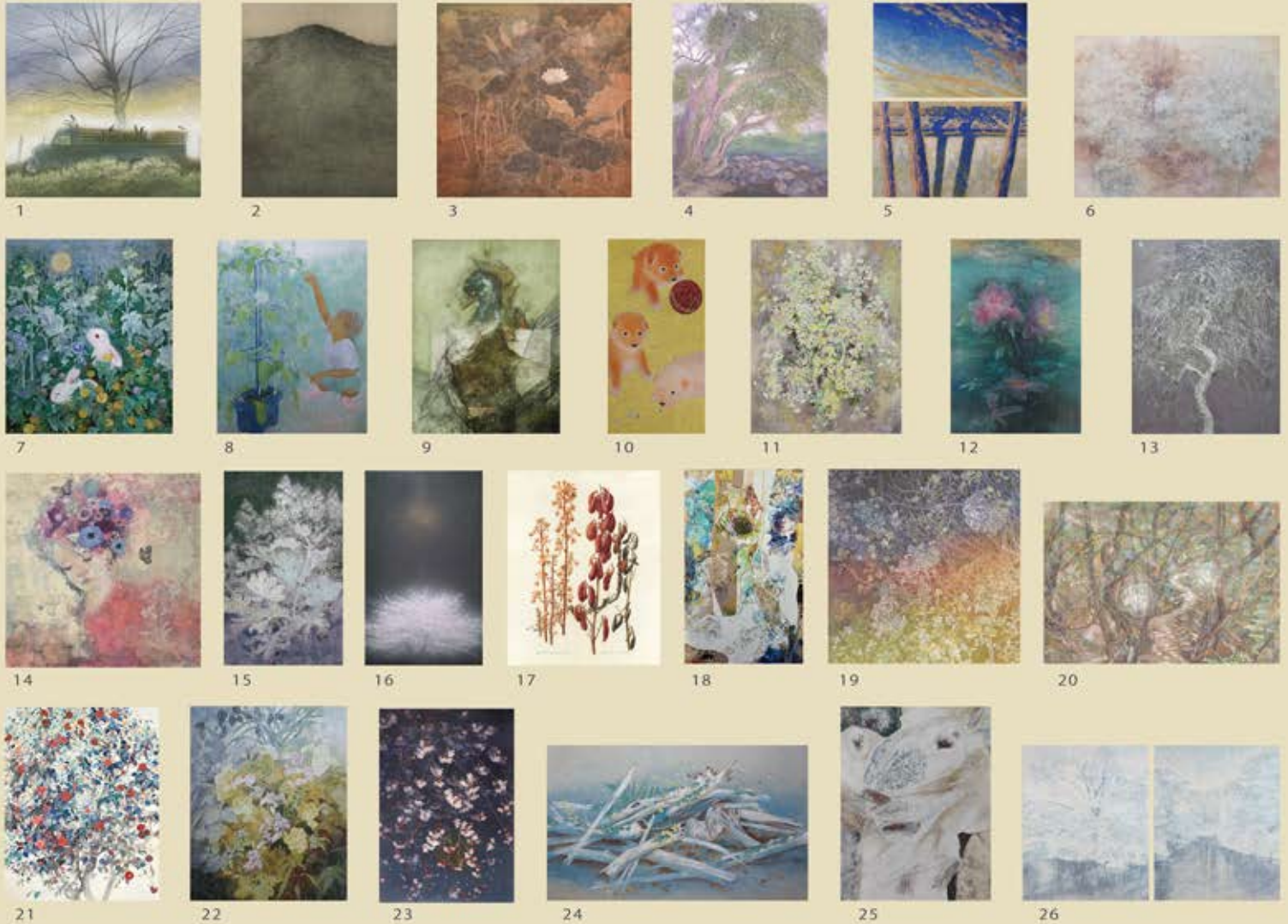
松伯美術館 検索

SHOUHAKU ART MUSEUM

未来を託す 豊かな感性

● 自然との共生の中で日本の風土、日本人の感性によって培われ、描き続けられてきた花鳥画。松伯美術館では開館時よりジャンルを花鳥画に限定した公募展「松伯美術館花鳥画展」を開催し、これまで23回開催してまいりました。また2016年からは、隔年でジャンルを問わない「松伯日本画展」も3回開催いたしました。ところが新型コロナウイルス感染症の収束が叶わず、諸事情もかさなって、残念ながら今年度も公募展開催は中止となってしまいました。そこで、作家の育成という公募展の歩みを振り返る機会として、本年と来年、2回にわけて、優秀賞受賞作家の作品をご紹介します。優秀賞受賞作家の皆さまに今現在のご自身の仕事を自由に発表していただきました。豊かな感性で描かれた多彩な表現の作品の数々を、是非、ご覧いただきますようご案内申し上げます。本展が、環境や価値観の激しい変化の中で日本画の未来について問いかける貴重な機会となるよう心より願っております。今後も松伯美術館は、現代日本画家の制作を応援し、作品をご紹介します展覧会を企画してまいります。

【主な展示作品】



- | | | | | | |
|-----------------|-----------------|--------------|-------------------|-------------------|--------------|
| 1 古田年寿《昭和浪漫》 | 2 和田ひとえ《終わりなき旅》 | 3 難波洋子《翼》 | 4 守家美保子《河伯の居るところ》 | 5 関友道《刻を紡ぐ》《空を紡ぐ》 | |
| 6 岩崎早苗《静》 | 7 平井理佐子《月夜》 | 8 細見朋子《夏の朝》 | 9 青木秀明《re born》 | 10 小山美和子《あそび》 | 11 那須ちひろ《冬隣》 |
| 12 長谷川雅也《一華一吟一》 | 13 丸山勉《今月枝垂梅》 | 14 奥村絵美《私の庭》 | 15 前田恭子《青葉間に咲く》 | 16 藤城正晴《散華》 | |
| 17 池田真理子《ツチアケビ》 | 18 城野奈英子《刻廻る》 | 19 立木美江《早春賦》 | 20 小林 悟《白日炎炎》 | 21 伊藤なおみ《空を映す》 | 22 島本純江《愛想花》 |
| 23 松原聖実《春麗》 | 24 森下麻子《夢吹く命》 | 25 内海福博《静寂》 | 26 井上貴絵《冬麗》（一対） | | |

会期中、特別展示室では松園・松篁・淳之の作品もご覧いただけます。

上村松園《化粧》・上村松篁《五色桃》・上村淳之《双鶴》他、素描も展示します。

松伯美術館

SHOUHAKU ART MUSEUM

〒631-0004 奈良市登美ヶ丘2丁目1番4号
Tel.0742-41-6666



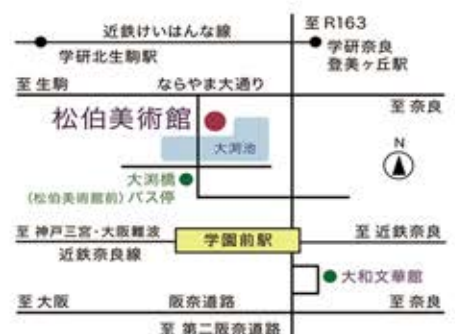
公式HP

松伯美術館 検索

【交通のご案内】

近鉄奈良線「学園前駅」北口
バスターミナル ⑤⑥番のりば
より、バスで約5分。
「大洞橋（松伯美術館前）」下車
大洞橋を渡った右側。

※駐車台数に限りがあるため
できる限り、「電車・バス」
でお越し下さい。



松伯美術館「友の会」会員募集中!

無料入館ほか様々な特典をご用意、
皆さまのご入会をお待ちしております。